

弁護士・海事補佐人  
あおき みちお  
青木 理生



## 経歴等

- 2003年 一橋大学社会学部卒業（臨床心理学を専攻）
- 2005年 一橋大学法学部卒業（刑事訴訟法を専攻）
- 2006～2007年 東京大学大学院法学政治学研究所  
法曹養成専攻在籍
- 2009年 戸田総合法律事務所入所
- 2015年9月 英国サウサンプトン大学海事法ショートコース修了

海難事故対応、備船者の責任防衛対応、船舶を用いた国際売買紛争対応といった  
海事関係事案を多数担当するとともに、洋上風力発電など再生可能エネルギープロジェクトや  
環境規制問題の助言など先端的問題について精力的に担当

## 講演・論文等

### 再生可能エネルギー関連 / 環境規制

#### 【再生可能エネルギー関連】

- 「日本における洋上風力発電の本格化到来と設置支援船の用船契約の重要な視点」（寄稿、日本海事新聞2020.7.30）
- 「日本における洋上風力発電の本格化とサポート船の特殊な契約書式のポイント(2)」（寄稿、日本海事新聞2021.1.28）
- 「BIMCO、洋上風力発電支援船 ASV用船契約書を策定」（インタビュー、日本海事新聞2021.3.24）
- 「日本における洋上風力発電の本格化とサポート船の特殊な契約書式のポイント(WINDTIME書式)」（寄稿、日本海事新聞2021.5.31）
- 「"WINDTIME"逐条英和对訳(1) 海事法研究会誌252号18頁(2021.8) 」
- 「洋上風力関連船に関する備船契約書式の特徴/留意点」（講演、東京海上日動社洋上風力関連船ウェビナー、2021.11.5）
- 「"WINDTIME"逐条英和对訳(2) 海事法研究会誌253号10頁(2021.11) 」
- 「"WINDTIME"逐条英和对訳(3) 海事法研究会誌254号40頁(2022.2) 」
- 「"ASVTIME"逐条英和对訳(1) 海事法研究会誌255号2頁(2022.5) 」
- 「"ASVTIME"逐条英和对訳(2) 海事法研究会誌256号50頁(2022.8) 」
- 「洋上風力関連船の契約実務」（講演、東京海上日動社洋上風力関連船セミナー、2022.11.7）
- 「洋上風力リスクマネジメント～海事弁護士から見た実務のポイント」（講演、日本風力発電協会主催・GWEC/秋田県共催Global Offshore Wind Summit-Japan 2022、2022.11.10）
- 「"ASVTIME"逐条英和对訳(3) 海事法研究会誌257号35頁(2022.11) 」
- 「洋上風力関連船の契約の基本」（特別講義、早稲田大学大学院法学研究科、2022.12.20）
- 「"ASVTIME"逐条英和对訳(4) 海事法研究会誌258号22頁(2023.2) 」
- 「洋上風力関連船に関する特殊備船契約の基礎」（講演、日本海運集会所、2023.3）
- 「日本の洋上風力船の基本書式と実務上の留意点」（講演、早稲田大学海法研究所海上保険研究会、2023.3.11）
- 「日本における浮体式洋上風力の拡大への期待と諸課題」（寄稿、日本海事新聞2023.3.30）
- 「CO2地下貯留と液化CO2輸送の期待と法的論点」（寄稿、日本海事新聞2023.9.28）
- 「洋上風力発電と事故対応～遅延をどう防ぐ？法的手続とポイント」（講演、日本風力発電協会・GWEC共催Global Offshore Wind Summit-Japan(世界洋上風力サミット) 2023、2023.10.12）
- 洋上風力関連船の契約実務～要所となる基本と問題点～（講演、東京海上日動社主催 洋上風力関連船セミナー、2023.11.9）
- 「洋上風力発電と事故対応～遅延をどう防ぐ？法的手続とポイント」（講演、REASP(一般社団法人 再生可能エネルギー長期安定電源推進協会)、2023.12.12）
- 「洋上風力関連船に関する特殊備船契約の基礎」（講演、日本海運集会所、2024.3）

#### 【環境規制】

- 「LNG燃料船時代の幕開けと法的留意点」（寄稿、日本海事新聞2019.11.28）
- 「海運に排出権取引制度はなじむのか」（寄稿、日本海事新聞2020.11.30）
- 「加速する脱炭素化の下での用船契約—脱炭素化関連条項とポイント」（寄稿、日本海事新聞2021.7.30）
- 「脱炭素社会に向けた最新の国際的取り組みと契約上の留意点」（寄稿、日本海事新聞2021.9.28）
- 「国際海運のGHG排出削減規制の導入と用船契約上の特別条項」（寄稿、日本海事新聞2022.5.31）
- 「迫るEEXI・CII規制～用船契約上の論点と備え～」（講演、日本海事新聞社主催ウェビナー、2022.6 [【動画を見る】](#)）
- 「迫るCII運用開始に向けた用船契約上の論点整理」（寄稿、日本海事新聞2022.11.30）
- 「EU-ETS制度の国際海運への導入と用船契約上の特別条項」（寄稿、日本海事新聞2023.1.31）
- 「EU-ETS排出権購入コスト負担を巡る議論の行方」（寄稿、日本海事新聞2023.5.31）
- 「EU排出量取引、コスト負担に不透明感。加盟国の法整備 焦点に」（インタビュー、日本海事新聞2023.6.1）
- 「海運EU-ETS、来年開始。外航GHGコスト化、一大転換点に。「責任主体」が焦点」（インタビュー、日本海事新聞2023.6.26）
- 「シブプリサイクル条約、採択から十数年の時を経てついに発効へ—海事関係者が備えるべきリスクとは」（寄稿、日本海事新聞2023.7.28）
- 「Bunker問題 契約当事者間での問題解決の可能性と課題」（講演、一般社団法人日本海運集会所「Bunker問題に関する意見交換会」、2018.9）（講演録、日本海運集会所「KAIUN」2018年11月号）
- 「粗悪油関連機関トラブルと本船での証拠保全の留意点について」（講演、損害保険ジャパン日本興亜株式会社船舶ロスプリセミナー、東京、2018.10）
- 「Bunker問題関係規則等の概要、予防・求償のための留意点」（講演、三井住友海上火災保険株式会社船舶海難防止セミナー「様々なBAD BUNKERトラブルの発生状況と今後の展望と対応」、東京・今治、2018.12）
- 「SOx規制に伴う定期備船契約上の課題」（講演、日本海事新聞社主催「迫るSOx規制 海事環境フォーラム、東京、2019.3」）
- 「SOx規制に伴う法的課題」（講演、MSIG Insurance (Singapore) Pte.Ltd.船舶海難防止セミナー「2020年SOx規制に伴うBUNKER OILのリスクとその対応」、シンガポール、2019.5）
- 「SOx規制と備船契約書」（インタビュー記事、日本海事新聞2019.7.4付け）

## 海難事故関連

- 「新たな衝突の危険」海事法研究会誌227号32頁（共同執筆）（2015）
- 「自然災害時の海難責任」（寄稿、日本海事新聞2019.9.26）
- 「海事法務最前線 厦門沖コンテナ船座礁」（インタビュー、日本海事新聞2020.3.31）
- 「ESG経営時代における船主責任制限の意義」（寄稿、日本海事新聞2020.9.30）
- 「インタビュー コンテナ船荷崩れ事故」（インタビュー、日本海事新聞2020.12.15）
- 「スエズ座礁事故」（インタビュー、日本海事新聞2021.3.26）
- 「海難事故による社会インフラ停止の影響と法的責任」（寄稿、日本海事新聞2021.3.31）
- 「厦門沖コンテナ船座礁、荷主の勝訴確定。英最高裁、『計画の欠陥』は不堪航。船主の責任が拡大」（インタビュー、日本海事新聞2021.11.12）
- 「『CMA CGM LIBRA』号事件、英国最高裁判決のポイントと影響」（寄稿、日本海事新聞2021.11.26）
- 「知床観光船沈没」（コメンテーター、読売テレビ・ミヤネ屋2022.4.28）
- 「視聴 知床観光船沈没」（評論、共同通信2022.5.17）
- 「検証 知床観光船沈没」(1)(2)(3)(4)（連続インタビュー、日本海事新聞2022.5.19, 20, 25, 26）
- 「運送品の高度な品質に関する運送人の注意義務と荷主の運送品受取義務— 運送契約の法的性質をふまえた責任分配の検討 —」（論稿（共同執筆）、海事法研究会誌260号2頁、2023.8）

## 油濁問題関連

- 「海洋汚染防止を巡る国際的な取り組みについて」（寄稿、日本海事新聞2019.7.30付け）
- 「重油1000トン超流出 モーリシャスの環境・生態系に影響」（インタビュー、日本経済新聞2020.8.9）
- 「油流出、環境回復に数十年も モーリシャス」（インタビュー、日本経済新聞2020.8.14）
- 「モーリシャス沖座礁事故 船主責任」（インタビュー、TBS News23 2020.8.18）
- 「海事弁護士に聞く モーリシャス座礁 損害賠償の論点」（インタビュー、日本海事新聞2020.9.1）

## 未知の問題関連

- 「戦争危険と定期用船契約」（寄稿、日本海事新聞2020.1.29）
- 「新型コロナウイルスの感染拡大と海事業界への影響」（寄稿、日本海事新聞2020.3.27）
- 「新型コロナ問題の影響とポストコロナ時代への備え」（寄稿、日本海事新聞2020.5.27）
- 「BIMCO、用船契約にコロナ条項」（インタビュー、日本海事新聞2020.6.29）
- 「コロナ禍と海事法」（パネルディスカッション、日本海法学会ミニシンポジウム2021.10.16）
- 「長期化するコロナ禍とフェアな契約条項の在り方の模索」（寄稿、日本海事新聞2022.1.28）
- 「ロシアによるウクライナ軍事侵攻と海事取引への影響」（寄稿、日本海事新聞2022.3.31）
- 日本海法会 海法会誌 復刊第65号「コロナ禍と海事法」（論稿、勁草書房2022.3.25）
- 「長引くコロナ禍と新たな伝染病の流行拡大への備え—新しい感染症条項の概要と留意点」（寄稿、日本海事新聞2022.7.28）
- 「経済制裁、長引く軍事侵攻への対抗策の海事取引への影響—Bimco Sanction Clausesの概要と留意点」（寄稿、日本海事新聞2022.9.29）
- 「相次ぐ貨物船乗っ取り—用船契約上の論点は何か。」（寄稿、日本海事新聞2023.11.30）
- 「激化する紅海危機—紅海回避と追加費用請求の可否。」（寄稿、日本海事新聞2024.1.31）

## その他

- 「荒波を乗り切るための海事法務」（特別講演、日本海事新聞社主催海事アカデミア、2020.4）
- 「荒波を乗り切るための海事法務」（特別講演、日本海事新聞社主催海事アカデミア、2021.4.21）
- 「荒波を乗り切るための海事法務」（特別講演、日本海事新聞社主催海事アカデミア、2022.4.13）
- 「未知の問題に挑むための海事法務～「現場力」を養うには～」（特別講演、日本海事新聞社主催海事アカデミア、2023.4.19）

## メッセージ

脱炭素、IT技術革新、国際的ボーダレス化、コンプライアンス意識の高まり。  
これに伴う海運界・水産業界を取り巻く社会経済環境の著しい変化。  
これまでにないような新しい問題に直面したり、新しい分野への進出を目指して  
挑戦なさったりしていらっしゃる皆様に、迅速かつ柔軟に、解決のご協力ができたらと思います。